



安全データシート(SDS) 尿素水 AdBlue

作成日: 2015年2月1日 改訂日: 2026年2月1日

1. 化学品および会社情報

- 製品名 : アドブルー (AUS32)
- 会社名 : 株式会社 無垢
- 住所 : 広島県三原市久井町江木 1611-1
- 担当部門 : 品質管理部
- 電話番号 : 0847-32-8882

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

- GHS 分類区分は付与されないが、取扱時には以下の点に注意すること。

注意書

- 予防策
 - 使用前に取扱説明書全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - 取扱を終了した後は、手・顔・首などをよく洗うこと。
 - 屋外への流出を避けること。
- 応急処置
 - 誤飲・吸入・接触・ばく露の懸念がある場合、さらに気分が悪い時は医師の診断・手当を受けること。
- 廃棄
 - 内容物および容器を廃棄するときは当該法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
 - 使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

化学名	化学特性 (構造式)	CAS 番号	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号
尿素	(NH ₂) ₂ CO	57-13-6	31.8 ~ 33.2%	化審法 2-1732
水	H ₂ O	7732-18-5	66.8 ~ 68.2%	化審法 : 対象外

4. 応急処置

- **吸入した場合**
 - 異常を感じたり気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。
- **皮膚に付着した場合**
 - 汚染された衣類・靴などを即座に脱ぎ、付着した製品を水またはぬるま湯で洗い流しながら石鹸等を使用して洗い落とす。
 - 外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の診断を受ける。
- **目に入った場合**
 - 直ちに清浄な水で数分間洗浄する。
 - 洗顔の際はまぶたを指でよく開き、眼球・まぶたの隅々まで行き渡るよう洗浄する。
 - コンタクトレンズを使用している場合は、取り除いて洗浄する。
 - 異物感がある場合、速やかに医師の診断を受ける。
- **飲み込んだ場合**
 - 無理に吐かせず、口を水ですすぐ。
 - 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
 - 保温して速やかに医師の診断を受ける。
- **応急措置をする者の保護**
 - 保護手袋・保護衣・保護メガネ・保護面・呼吸用保護具・保護長靴などの適切な保護具を着用する。
- **医師に対する特別な注意事項**
 - 症状に応じた適切な治療を行う。

5. 火災時の措置

- **消火剤**：棒状水、霧状水、泡消火材、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂
- **使ってはならない消火剤**：なし
- **特有の危険有害性**
 - 当該製品は分子中に窒素を含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
- **消火を行う者の保護**
 - 消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。
- **詳細情報**
 - この製品自体は不燃性であるが、周辺火災の場合、以下の措置を行う。
 - 1) 火災の発生源となるものを速やかに取り除く。
 - 2) 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
 - 3) 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。
 - 4) 消火活動は、可能な限り風上から行う。
 - 5) 容器および周囲の設備などに散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

- **人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置**
 - 適切な保護具（保護手袋、保護衣、保護メガネ等）を着用する。
 - 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
 - 風上から作業し、風下の人を避難させる。
 - 飛沫の付着や蒸気ミストの吸入を避ける。
- **環境に対する注意事項**
 - 漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
- **封じ込めおよび浄化の方法および機材**
 - **少量の場合:** 乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸着して密閉できる容器に回収する。
 - **大量の場合:** 盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
 - 危険なく処理できるときは、漏出を遮断し、漏れを止める。

7. 取扱および保管上の注意

取扱

- **技術的対策**
 - 8章の「設備対策」を参照する。
 - 吸入、皮膚への接触を防ぎ、目に入らないよう適切な保護具を着用する。
 - 取扱場所の近くには手洗い・洗眼設備を設け、取扱後に手や顔などを洗う。
 - 取扱場所は換気を良くする。
- **安全取り扱い注意事項**
 - 全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
 - 漏れ・溢れ・飛散を防ぎ、みだりに蒸気を発散させない。
 - 容器は転倒・落下・衝撃を加えたり、引きずる等の取扱をしてはならない。
 - 接触・吸入・あるいは飲み込まない。
 - 屋外または換気の良い場所で取り扱う。
- **衛生対策**
 - 取扱後は、手をよく洗うこと。
 - この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

- **安全な保管条件**
 - 容器を密閉して直射日光を避け、換気の良い暗所に保管する。
 - 乾燥した涼しい環境の良い場所で、容器の栓をしっかり閉めて保管する。
 - 保管場所の床は、床面に水が浸入・浸透しない構造とする。
 - 保管場所には、必要な採光、照明および換気の設備を設ける。
 - 法令等により規定された基準に従って保管する。
- **混触禁止物質** : 強酸化剤
- **安全な容器包装材料** : 貯蔵タンクの材質は、プラスチックおよびステンレスが最適。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度・許容濃度

- 作業環境評価基準 : 未設定
- 日本産業衛生学会 : 未設定
- ACGIH : 未設定

設備対策

- 取扱場所の近くに、眼の洗浄および身体洗浄のための設備を設置する。
- 必要に応じて局所排気装置や全体換気装置等を設置した場所で取り扱う。

保護具

- 呼吸用保護具 : 必要に応じて防塵マスク、防毒マスク等を使用
- 手の保護具 : 保護手袋
- 眼の保護具 : 安全ゴーグル、保護メガネ、保護面
- 皮膚および身体の保護具 : 保護服、ヘルメット、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的および化学的性質

- 物理的状态・形状 : 水溶液
- 色 : 無色透明
- 臭い : 微かなアンモニア臭
- pH : 8~10
- 融点・凝固点 : -11.5 °C
- 密度・比重 (20 °C) : 1.090 g/cm³
- 分解温度 : 139 °C
- その他 (沸点、引火点、爆発範囲、蒸気圧、溶解度) : データなし

10. 安定性および反応性

- 化学的安定性 : 通常の状態では安定
- 避けるべき条件 : 高温、直射日光
- 混触危険物質 : 強酸化剤
- 危険有害な分解生成物 : アンモニア

11. 有害性情報

製品情報

- 急性経口毒性/急性皮膚毒性 : 区分に該当しない
- 急性吸入毒性 : 分類できない
- 皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない
- 眼に対する重篤な損傷/刺激性 : 区分に該当しない
- 感作性、変異原性、発がん性、生殖毒性、標的臓器毒性 : 分類できない、または区分に該当しない

成分情報（尿素）

- 急性経口毒性 LD50（ラット）：14,300mg/kg
 - 急性皮膚毒性 LD50（ラット）：8,200mg/kg
-

1 2. 環境影響情報

- 水生環境有害性（急性・長期間）：区分に該当しない
 - 生体蓄積性：データなし
 - オゾン層への有害性：分類できない
-

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物
 - 関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。
 - 認可された廃棄物処理業者に委託し、適切に処理する。
 - 廃棄物処理を委託する場合、処理事業者に危険性および有害性を十分に説明の上処理を委託する。
-

1 4. 輸送上の注意

国際規制

- IATA：非危険物
- IMDG：非危険物

国内規制

- 陸上・海上・航空輸送：規制なし
-

1 5. 適用法令

- 水質汚濁防止法
 - 生活環境汚染項目：窒素含有量（法第2条、施行令第3条、排水基準を定める省令第1条別表第2）
-

1 6. その他の情報

- 参考文献
 - 自社データ
 - 日本工業規格（JIS）Z7252:2019 / JIS Z7253:2019
 - 免責事項
 - 記載内容は、現時点で入手できる資料および情報に基づき作成したものです。
 - 記載されている情報は、いかなる保証をするものではありません。
 - この SDS のデータは、尿素水による脱硝設備および装置に使用することに限定しており、その他の用途や材料との組み合わせには適用されません。
-